

平成 2 9 年度
事業報告書

自 平成 2 9 年 4 月 1 日
至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

一般社団法人日本音楽制作者連盟

【目次】

《平成29年度の事業内容》

1. 著作隣接権等の権利の擁護の推進及び研究

- (1) 芸団協・実演家著作隣接権センター（CPRA）の運営…………… P. 2
- (2) 映像コンテンツ権利処理機構（aRma）…………… P. 2
- (3) 音制連における著作隣接権委員会…………… P. 3
- (4) 著作隣接権に係る権利行使の受任及び報酬等の分配…………… P. 3
- (5) 隣接権データベースの整備…………… P. 3
- (6) 新たな分配データの整備に向けた調査研究…………… P. 3
- (7) 未登録者への対応…………… P. 4
- (8) 著作隣接権に係る報酬等の分配…………… P. 4
- (9) 各種書類のデジタル化推進…………… P. 4

2. 音楽制作事業に関する調査、研究及び事業支援

- (1) ビジネスモデル研究…………… P. 5
- (2) FMP 総合研究所…………… P. 7
- (3) 海外視察…………… P. 7
- (4) ライブ・エンタテインメント白書…………… P. 7
- (5) コンサートツアー中止保険…………… P. 7

3. 会員相互交流の促進及び情報発信

- (1) 組織活性…………… P. 8
- (2) 広報活動…………… P. 9
- (3) セミナー、研修会の開催…………… P. 9

4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- (1) 公益目的支出計画…………… P. 1 2
- (2) 社会貢献の実現…………… P. 1 2
- (3) 「記憶の記録 LIBRARY」プロジェクト…………… P. 1 2
- (4) 後援助成…………… P. 1 3
- (5) 関係団体との協力…………… P. 1 4
- (6) 協議会等への参加…………… P. 1 5
- (7) 講師派遣…………… P. 1 6

平成29年度 事業報告書（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

《平成29年度の事業内容》

1. 著作権隣接権等の権利の擁護の推進及び研究

（1）芸団協・実演家著作権隣接権センター（CPRA）の運営

日本音楽事業者協会（音事協）並びに演奏家権利処理合同機構 MPN（MPN）、映像実演権利者合同機構（PRE）と協力し、芸団協・実演家著作権隣接権センター（CPRA）の運営を行った。具体的には、権利行使を委任した4団体（音制連、音事協、MPN、PRE）の代表者により構成される「権利者団体会議」及び上記4団体から選任された13名の運営委員によって構成される「運営委員会」に参加し、文化庁長官指定団体業務、著作権等管理事業法による管理事業、指定管理団体（sarah）からの委託による分配業務など、主に下記①～③の権利処理業務について、正確かつ迅速な権利者分配が実施出来るよう、実効的活動及び研究を行った。

①文化庁長官指定団体業務

- ・ 商業用レコード二次使用料請求権に関する事項
- ・ 貸与報酬請求権（貸レコード使用料・報酬）に関する事項

②著作権等管理事業法による管理事業業務

- ・ 商業用レコード放送用録音に関する事項
- ・ 商業用レコードの送信可能化権に関する事項

③委託による分配業務

- ・ 私的録音補償金に関する事項

（2）映像コンテンツ権利処理機構（aRma）

日本音楽事業者協会（音事協）並びに映像実演権利者合同機構（PRE）、演奏家権利処理合同機構 MPN（MPN）、日本芸能実演家団体協議会（芸団協）と協力し、映像コンテンツ権利処理機構（aRma）の運営を行った。具体的には、社員5団体（音制連、音事協、PRE、MPN、芸団協）から選任された11名の理事によって構成される「理事会」に参加し、著作権等管理事業法による管理事業、利用者との契約に基づく徴収業務など、主に下記①～②の権利処理業務について、正確かつ迅速な権利者分配が実施出来るよう、実効的な活動及び研究を行った。

①著作権等管理事業法による管理事業業務

- ・ 放送番組二次利用に関する事項

②利用者との契約に基づく徴収業務

- ・有線放送報酬に関する事項
- ・IP マルチキャスト送信補償金に関する事項

(3) 音制連における著作隣接権委員会

前号（1）の CPRA 運営及び前号（2）の aRma 運営に対し、音楽制作者の意見をより反映させることを目的として、各権利に関する調査研究、CPRA 及び aRma への提言を行った。また、徴収・分配に関する法務処理や課題の解決に努め、会員社への適切な分配を目指し、有識者を交え情報収集と研究を実施した。

(4) 著作隣接権に係る権利行使の受任及び報酬等の分配

CPRA 及び aRma が徴収・分配を行う以下の使用料等に係る権利について、会員社及び権利を委任する音楽制作者より、権利行使に関する委任を受けて CPRA 及び aRma に復委任を行い、その権利報酬等について正確かつ迅速な権利者分配を実施した。

- ・商業用レコードの二次使用料
- ・録音権使用料
- ・貸レコード使用料
- ・私的録音補償金
- ・有線放送報酬
- ・放送番組二次利用の使用料 ほか

(5) 隣接権データベースの整備

CPRA 隣接権使用料分配の基礎となる「隣接権データベース（CDRA/アーティスト及びプロダクションの実演実績記録データベース）」に関するデータの収集、追加及び更新を行い、「商業用レコード放送二次使用料」「貸レコード使用料」他、今後派生する実務的な課題解決のための研究及びデータ整備を行った。

(6) 新たな分配データの整備に向けた調査研究

CPRA 隣接権使用料分配精度の一層の向上を目指し昨年度から継続し実施してきた「実演実績記録データ調査研究」の調査結果をもって、CPRA に対しデータ収集方法の見直しとそれに関連した分配ルールの再構築にむけた提言を行った。

(7) 未登録者への対応

実演家の権利行使に関する委任のない音楽プロダクションやアーティスト等の音楽制作者に対し著作隣接権の啓発を行い、新規30社（正会員、権利委任個人・法人）の権利行使の委任を受け、計124アーティストが新たに登録された。具体策としては、日本ダンスミュージック連盟（FDJ）等の関係団体との協力体制を強化することで、未登録者の登録率を高めた。

(8) 著作隣接権に係る報酬等の分配

＜＜平成29年度・会員への分配額（手数料控除後）＞＞

	平成28年度実績	平成29年度実績	前年比	備考
①貸レコード使用料	¥638,935,922	¥594,289,202	93%	H28年度徴収+判明者追加
②放送二次使用料	¥1,296,530,473	¥1,239,545,341	96%	H28年度徴収+判明者追加
③録音権	¥512,648,530	¥490,420,305	96%	H28年度徴収
④私的録音補償金	¥18,828,118	¥3,516,033	19%	H28年度徴収+判明者追加 (昨年は留保分・追加判明分配あり)
⑤私的録画補償金	¥476,437	¥0	—	
⑥放送番組二次使用料	¥78,255,708	¥74,812,185	96%	H29年2月～H30年1月
⑦有線放送報酬	¥59,575,533	¥29,660,911	50%	H28年度映像分、H27年度音楽分 (昨年度はaRma分配時期変更による2年分の分配)
分配総合計	¥2,605,250,721	¥2,432,243,977	93.4%	

(9) 各種書類のデジタル化推進

現在、収集保存している各種書類について、収集データのデジタル化及び分配資料のデジタル化に向けて関係諸団体と協議を行った。

2. 音楽制作事業に関する調査、研究及び事業支援

(1) ビジネスモデル研究

音楽作品やコンサートのプロモーション展開、チケット・マーチャンダイジングの流通、各種メディアとの連携など幅広く今日のプロダクションビジネスにおける課題抽出を行い、将来を見据えたビジネスモデル研究を実施した。

①プロダクションビジネス研究委員会

プロダクションビジネス研究委員会の傘下に、下記4つのプロジェクトを置き、会員社業務に密接な各種課題について調査研究を行った。

・ライブビジネスプロジェクト

ライブビジネスにおける業務の効率化、利益の確保を主要なテーマとして、支出をおさえ収入を確保することを考察し、今期も昨期に続き主にチケット高額転売の撲滅に向けて、音事協、ACPC、コンピュータ・チケットティング協議会とともにチケット適正リセール推進協議会を設置し、以下の活動を行った。

i. ユーザー啓発活動

- ・朝日、毎日、日経新聞での全15段一面意見広告掲載
- ・専用webサイト「転売NO」開設、運営協力
- ・首都圏主要ホールでのポスター掲示

ii. 公式チケットトレードリセール「チケトレ」を開設

iii. 法整備に向けた関係省庁、議連への働きかけ

- ・ライブ・エンタテインメント議員連盟と勉強会開催

・デジタルビジネスプロジェクト

プロダクションビジネスにとって有益な各種デジタルサービスに関する調査研究と有害なデジタルサービスに関する情報収集を行った。具体的には、サブスクリプションサービス各社の有料会員動向の把握や動画共有サイトの権利報酬の取り扱い等に関するデータをとりまとめ、セミナーを通じて情報提供を行った。

・グローバルビジネスプロジェクト

会員アーティストの音楽作品が海外で広く紹介されるための環境整備を目的とし、世界インディーズレーベルの団体WIN (Worldwide Independent Network) や権利処理機構MERLIN 等との情報共有を推進し、ILCJ(インディペンデント・レーベル協議会)及びIRMA(特定非営利活動法人インディペンデント・レコード協会)が合同で海外展開をサポートする団体「IMCJ」との連携を通じて、海外音楽市場に関する有益な情報を収集

し、関係各社へ提供した。

・2020年／ナイトタイムエコノミープロジェクト（旧：2020年委員会）

未来の音楽ビジネスを中長期の観点で見つめ、音楽エンタテインメントにおいて「夢と希望を持てる未来をつくる」ことを目的に、課題解決の可能性を探るべく情報収集を行い、関係諸団体と連携を図り、以下の活動を行った。

i. 首都圏でのホール不足問題『2016年問題』は、東京五輪が終了する2020年まで益々深刻な状況が見込まれ、問題解決に向け、また、五輪後会場の有益な跡利用についても関係諸団体と協力し、情報収集を行った。

ii. 2020年東京オリンピック・パラリンピックでの訪日が見込まれるインバウンドの拡大、並びに将来的なIR（統合型リゾート）法案の成立に照準を合わせ、音楽エンタテインメントを提供するための環境を整備、また、大都市圏における夜間経済活動の動向を注視し、ライブ・エンターテインメント、ショー・パフォーマンス、各種アミューズメント等の活性化や飲食産業との連携など、いわゆるナイトエコノミー活性化の可能性について調査研究を行った。

iii. 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向かって、様々な応援イベントや関連企画が政府や組織委員会、東京都、民間企業等によって実施される。そこで、当連盟の加盟社全体で参加し、貢献できるような企画の有無について情報収集を行い、参加の可能性を探った。

②アーティスト ID 付番に関する研究

音楽関係団体を中心となり、大学研究機関、民間企業が参加し、プロダクションビジネスの多角化及び効率化を目的として、アーティストを基軸としたコード付番について調査研究を行う任意団体「ArtistComm（アーティストコモンズ）」実証実験連絡会に参加した。アーティストのプロフィール、リリース情報、コンサート情報、グッズ、映像、書籍など多岐にわたるアーティスト関連情報データベースを連携させるためのアーティスト ID 付番を通じて、アーティストの才能・付加価値を最大限に高め、国内外へ広く情報発信を行えるよう関係諸団体と協議を行った。

(2) FMP 総合研究所

音楽制作を取り巻く環境が激変する中、音楽制作ビジネスの発展に寄与するため、音楽産業向けシンクタンクとしてFMP 総合研究所を運営し、各種の調査・研究、実証実験、データ整備、普及・広報活動を行った。また、音楽産業の将来に大きな影響をもたらさずであろう関係省庁並びに学会、情報・通信産業界等の動向の把握を目的として、勉強会や交流会を開催した。

特に「チケット高額転売対策」、「アーティストコモンズ」の活動を推進するべく、政府機関への働きかけを行った。

(3) 海外視察

実演家参加データの収集方法の調査・研究事業として、海外における先進的なデータ管理・収集方法に関する調査および海外の音楽市場調査を目的として、以下の会議への出席、並びに音楽コンベンションやコンテンツ関連フェスティバル等の視察を行った。

①SCAPR 総会

日 程：平成29年5月13日（土）～23日（火）

会 場：エストニア・タリン

②MIDEM

日 程：平成29年6月6日（火）～9日（金）

会 場：フランス・カンヌ

③SXSW（サウス・バイ・サウス・ウエスト）

日 程：平成30年3月12日（月）～17日（土）

会 場：アメリカ・オースティン

(4) ライブ・エンタテインメント白書

国内のライブ・エンタテインメント市場規模を把握するため、音事協並びにコンサートプロモーターズ協会（ACPC）、MPAJ、JASRAC、日本演劇興行協会、主要プレイガイド、大手広告代理店等と協力し、「2017ライブ・エンタテインメント白書」を編集発行した。

(5) コンサートツアー中止保険

コンサート経費が高騰する中、コンサート中止による損害は、会員社個々のリスク及び負担になっていることから、低廉な費用で加入可能な音制連コンサートツアー中止保険団体保証制度を提供し、音楽制作事業を側面から支援した。

3. 会員相互交流の促進及び情報発信

(1) 組織活性

組織委員会を中心に会員規約の整備や入退会情報等の収集、管理並びに新入会員へのガイダンスを行った。

また、会員社をはじめ音楽業界全体の懇親、交流を目的としたNEW YEAR PARTY、会員相互の懇親を目的としたゴルフコンペ、映画試写会等の各種親睦会、交流会を開催した。

① NEW YEAR PARTY

開催日：平成30年1月18日（木）（参加者1,634名）

会場：セルリアンタワー東急ホテル ボールルーム

② ゴルフコンペ

開催日：平成29年6月22日（木）（参加者110名）

会場：姉ヶ崎カントリー倶楽部

③ 映画試写会

開催日：平成29年7月28日（金）（参加者30名）

会場：松竹本社3F 試写室

作品名：MOTHER F**KER

開催日：平成29年9月5日（火）（参加者55名）

会場：ワーナー・ブラザーズ映画試写室

作品名：ダンケルク

開催日：平成30年2月9日（金）（参加者81名）

会場：スペースFS 汐留

作品名：ビッグ・シック ぼくたちの大いなる目ざめ

開催日：平成30年3月9日（金）（参加者52名）

会場：松竹本社3F 試写室

作品名：SUKITA

(2) 広報活動

① 広報誌等の発行

フリーペーパー「音楽主義」の編集発行等を通じて、より多くの音楽業界関係者や音楽制作者を目指す学生、すべての音楽愛好家へ向けて著作権思想の啓発活動を行った。

また、「音楽主義」の配布先以外からの購読希望者に応えるべく、webサイト「音楽主義.net」の情報更新を行った。

② 会員年鑑の発行

会員年鑑「GREEN BOOK 2018」の編集発行を行い、会員社の各種情報を収集した。

(3) セミナー、研修会の開催

音楽制作事業に関連する諸問題に対応するため、また、会員社ビジネスの後方支援を目的に以下のセミナーを開催した。

《主催》

① 公式チケットトレードリセール「チケトレ」サービス開始に関する説明会

(主催：FMPJ、音事協、ACPC、コンピュータ・チケットィング協議会)

開催日：平成29年4月18日(火)(参加者55名)

平成29年4月20日(木)(参加者80名)

会場：日本音楽事業者協会 B1F ホール

登壇者：野村 達矢(常務理事)

中井 秀範(日本音楽事業者協会 専務理事)

中西 健夫(コンサートプロモーターズ協会 会長)

石川 篤(コンサートプロモーターズ協会 総務委員)

竹田 裕(ぴあ ライブ・エンタテインメント事務局

セールスプロモーショングループ グループ長)

開催日：平成29年5月8日(月)(参加者22名)

会場：ぴあ株式会社 関西支社 会議室

登壇者：野村 達矢(常務理事)

中井 秀範(日本音楽事業者協会 専務理事)

石川 篤(コンサートプロモーターズ協会 総務委員)

東海林 健(ぴあ ライブ・エンタテインメント事務局 担当局長)

②マネージャーが今日から使える IT サービスセミナー

開催日：平成29年6月29日（木）（参加者74名）

会場：青学会館アイビーホール2F「ミルトス」

オーガナイザー：山口 哲一（バグ・コーポレーション 代表取締役）

講師：青木 貴博（radiko 業務推進室長）

佐々木 舞（グーグル ミュージック部門責任者）

野本 晶（スポティファイジャパン アーティスト&レーベルサービス
ディレクター）

稲荷 幹夫（レコチョク 執行役員 CTO）

岡田 一男（CAMPFIRE 執行役員）

磯崎 誠二（阪神コンテンツリンク ビルボード事業部 担当部長）

③FMPJ・ACPC 合同「人材育成研修会」(主催：FMPJ、ACPC)

開催日：平成30年2月5日（月）（参加者312名）

会場：Mt. RAINIER HALL SHIBUYA PLEASURE PLEASURE

講師：第一部「ライブ・エンタテインメント産業の課題」

・野村 達矢（常務理事／ヒップランドミュージックコーポレーション
常務取締役執行役員）

・近藤 正司（理事／スペースシャワーネットワーク 代表取締役社長）

・中西 健夫（コンサートプロモーターズ協会 会長／
ディスクガレージ 代表取締役社長）

第二部「レコード会社の未来」

・藤倉 尚（ユニバーサル・ミュージック 代表取締役）

懇親会（参加者291名）

④シンポジウム「チケット高額転売問題」

(主催：FMPJ、音事協、ACPC、コンピュータ・チケットティング協議会)

開催日：平成30年2月6日（火）（参加者247名）

会場：有楽町朝日ホール

講師：第一部「チケット高額転売問題の経緯と業界団体の取組み」

・中井 秀範（日本音楽事業者協会 専務理事）

・石川 篤（コンサートプロモーターズ協会 総務委員）

・東條 岳（Field-R 法律事務所 弁護士）

第二部「パネルディスカッション」

進行：中西 健夫（コンサートプロモーターズ協会 会長）

- 登壇者：・岸谷 香（ミュージシャン）
・為末 大（DEPORTARE PARTNERS 代表）
・デーモン閣下（悪魔・アーティスト）
・野村 達矢（常務理事）

⑤ライブ・エンターテイメント EXPO ライブ・エンタテインメントビジネス特別セミナー
「ライブ・エンタテインメントビジネスにおける実情と課題
～チケット高額転売問題・会場不足・人材育成～」

（主催：FMPJ、音事協、ACPC）

開催日：平成30年2月22日（木）（参加者213名）

会場：幕張メッセ ライブ・エンターテイメント EXPO 会場内

講師：中井 秀範（日本音楽事業者協会 専務理事）

野村 達矢（常務理事）

石川 篤（コンサートプロモーターズ協会 総務委員・転売対策担当／

ディスクガレージ 取締役）

《共催》

①TIMM ビジネス・セミナー（主催：PROMIC、共催：FMPJ、音事協、ACPC）

欧米のライブ・エンタテインメント市場におけるチケット転売問題と日本の現状

開催日：平成29年10月24日（火）（参加者115名）

会場：渋谷エクセルホテル東急 TIMM 会場内

モデレーター：石川 篤（コンサートプロモーターズ協会 総務委員・転売対策担当／
ディスクガレージ 取締役）

スピーカー：野村 達矢（常務理事／ヒップランドミュージックコーポレーション
常務取締役執行役員）

アラン デイ（キリマンジャロ・ライヴ・英国コンサートプロモーター）

アダム ウェップ（ファンフェア・アライアンス・キャンペーンマネージャー／

AL1 コミュニケーションズ・創業者）

②ライブ・エンターテイメント EXPO 専門セミナー ライブエンタテインメントの展望
(主催：リード・エグジビション ジャパン)

「「ヒットの崩壊」以降のエンタテインメントの未来」

開催日：平成30年2月22日(木)(参加者71名)

会場：幕張メッセ ライブ・エンターテイメント EXPO 会場内

パネリスト：野村 達矢(ヒップランドミュージックコーポレーション

常務取締役執行役員)

相馬 信之(アミューズ 取締役 専務執行役員)

水野 良樹(ソングライター/いきものがかり)

モデレーター：柴 那典(音楽ジャーナリスト)

※肩書きは開催当時、敬称略

4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 公益目的支出計画

平成23年2月の旧法人決算総会において確認された公益目的財産額について、新制度に則り、公益目的支出計画を立案し、以下の事業を実施した。

- ・チケット高額転売防止啓発活動
- ・音楽資料アーカイブ『記憶の記録 LIBRARY』
- ・音楽主義発行
- ・インディーズ海外展開調査業務委託費
- ・FMPJ MUSIC POWER AID 寄付金
- ・関係諸団体事業活動への後援助成

(2) 社会貢献の実現

平成29年7月九州北部豪雨及び秋田県豪雨の被災地への義援金支援

「FMPJ MUSIC POWER AID 基金」より大分県および福岡県、秋田県の3県へ義援金各30万円を送金した。

(3) 「記憶の記録 LIBRARY」プロジェクト

当連盟に縁のあるポピュラー音楽並びにアーティストの足跡を記録し、次世代の音楽ファンに継承することを目的とした調査研究、キャリアアーティストの活動履歴のアーカイブ化と情報発信を推進するため、フリーペーパー「記憶の記録 LIBRARY」の編集発

行および web サイトの情報更新を行った。

(4) 後援助成

音楽文化の振興に寄与するため、音楽芸能の普及及び社会的貢献を目的とした以下の事業に対する後援あるいは協力を行った。

①Act Against AIDS (AAA)

青少年に対するエイズ予防の啓発活動を行う AAA に運営会員として参加し、後援した。

②音楽著作権管理者養成講座

MPAJ が主催する「音楽著作権管理者養成講座」を後援した。

③地方創生ブランドジャパン

全国の自治体と連携し「ふるさと納税」の寄付額の促進を目的とした音楽ライブコンサートやその他のエンターテイメントに特化した「返礼品」の開発事業に対する名義協力をした。

④アニメビジネス・パートナーズフォーラム

日本動画協会が開催した「アニメビジネス・パートナーズフォーラム」に名義協力した。

主 催：日本動画協会

期 間：平成29年5月10日（水）～平成28年8月30日（水）

⑤MIDEM/JAPAN STAND 2017

日本の音楽文化並びに音楽業界について広く海外へ PR するため、MIDEM（国際音楽産業見本市）での JAPAN STAND の出展に後援した。

主 催：日本音楽出版社協会

開催日：平成29年6月6日（火）～平成29年6月9日（金）

会 場：フランス・カンヌ 国際見本市会場内

⑥No Maps

札幌国際短編映画祭を核とし、映画、音楽、インタラクティブの3つのイベントを同時期に札幌市内各所で開催するコンベンション「No Maps」に後援した。

主 催：No Maps 実行委員会

期 間：平成29年10月5日（木）～平成29年10月15日（日）

⑦Japan Content Showcase 2017 (TIMM、TIFFCOM、TIAF)

映像・音楽・アニメーションの国際見本市を集約し、コンテンツの垣根を越えたアジアを代表するコンテンツマーケットでアジア音楽産業の発展及び相互の連携を支援することを目的とした「Japan Content Showcase 2017 (TIMM、TIFFCOM、TIAF)」を後援した。

主 催：経済産業省、音楽産業・文化振興財団 (PROMIC)、ユニジャパン、日本動画協会

開催日：平成29年10月23日(月)～平成29年10月26日(木)

会 場：渋谷エクセルホテル東急、サンシャインシティ コンベンションセンター

⑧第10回CDショップ大賞

音楽を取り巻く様々な課題がある中、CDショップの現場からもっと音楽を盛り上げていくために設立。メジャー・インディーズを問わず、過去一年間に発売された作品を対象とし、全国のCDショップ店員の投票によって“素晴らしい作品”を選び、伝えることを目的とした『CDショップ大賞』を後援した。

主 催：CDショップ大賞実行委員会

開催日：平成30年3月8日(木)

会 場：白金高輪 SELENE b2

(5) 関係団体との協力

①日本音楽事業者協会 (音事協)

プロダクション団体の視点から、多様化する著作権隣接権の健全な概念・処理の在り方の調査、研究を協力して行った。特に、aRmaの業務運営、チケット高額転売問題等のプロジェクト展開について協議を行った。

②日本音楽団体協議会 (音団協)

音事協、MPAJとともに日本音楽団体協議会(音団協)を運営し、実権利者団体としての立場から、将来の音楽文化普及、啓発に資する活動を行った。

③コンサートプロモーターズ協会 (ACPC)

コンサート・イベント運営における諸問題の解決のため、検討会を開催し、情報共有を図った。特にチケット高額転売問題をはじめ、2016年以降に首都圏の主要なコンサート会場が改修、改築のため会場不足となる問題、著作権使用料等の権利処理の円滑化について協議を行った。

④音楽産業・文化振興財団（PROMIC）

PROMIC が主催する東京インターナショナル・ミュージック・マーケット（TIMM）に参加協力し、海外の音楽市場動向に関する情報収集を行うとともに、国内アーティストの海外展開について側面支援を行うため、関係会議に役員を派遣した。

⑤以下の9団体に会員として加盟し、当連盟の会員にとって有益な情報収集や提案を行った。

- ・日本芸能実演家団体協議会（芸団協）
- ・著作権情報センター（CRIC）
- ・肖像パブリシティ権擁護監視機構（JAPRPO）
- ・渋谷クリエイティブタウン
- ・CiP（Contents Innovation Program）協議会
- ・コンテンツ海外流通促進機構（CODA）
- ・放送コンテンツ海外展開促進機構（BEAJ）
- ・放送サービス高度化推進協会（A-PAB）
- ・映像産業振興機構（VIPO）

（6）協議会等への参加

以下の協議会等に参加し、音楽に係る著作権及び著作隣接権の保護の諸施策やデジタル化及びネットワーク化に起因する諸問題への対策、日本の音楽文化やコンテンツ産業の擁護について検討を行った。

- ・AMO 代表者会議（音事協、音制連）
- ・日本音楽団体協議会（音事協、MPAJ、音制連）
- ・海外フィンガープリント技術による海外放送の邦楽曲使用報告および国内放送楽曲使用報告の更なる精度向上のための実証プロジェクト連絡会
(JASRAC、RIAJ、MPAJ、音制連)
- ・ライブ・エンタテインメント議員連盟
- ・自民党時間市場創出推進（ナイトタイムエコノミー）議員連盟
- ・民放連「放送番組のネット配信等権利処理に関する連絡会」との協議
- ・文化芸術振興議員連盟
- ・Worldwide Independent Network（WIN）
- ・東京スクールオブミュージック専門学校渋谷 教育課程編成委員
- ・東京スクールオブミュージック専門学校渋谷 学校関係者評価委員
- ・スペースシャワーネットワーク番組審議会
- ・MUSIC ON! TV 番組審議会
- ・MTV 番組審議会

(7) 講師派遣

①音楽著作権管理者養成講座

主 催：日本音楽出版社協会 (MPAJ)

開催日：平成29年11月7日 (火)

会 場：TKP ガーデンシティ渋谷 4F 「ホール4A」

講座名：プロダクション

講 師：池田 正義 (理事)

②MPAJ ビジネスモデル研究会

主 催：日本音楽出版社協会 (MPAJ)

開催日：平成29年12月5日 (火)

会 場：日本音楽出版社協会 (MPAJ)

講座名：高額転売問題のこれまでの総括と今後の展望、「チケトレ」について

講 師：金井 文幸 (常務理事)

以上